

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創立：1930年(昭和55年)1月10日
創会長：松波 恒彦
幹事：平野 好道
クラブ委員長：大嶽 達郎
例会日：毎週木曜日PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1567回例会

～新世代のための月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2012年9月20日(木) 晴 第11回

司会：渡辺喜代彦会場委員
斉唱：「それでこそロータリー」
ゲスト：愛知県瑞穂警察署 刑事課長
愛知県瑞穂警察署 刑事課暴力薬物係係長

会長挨拶

松波恒彦会長

私はゴールド免許ですが、5年後に70歳になるとゴールド免許はなくなり、講習を受けなければならないので寂しく思います。今日はトヨタ自動車『2000GT』についてお話しします。



1965年に東京モーターショーで発表され、日本に素晴らしい車が誕生しました。トヨタ自動車とヤマハ発動機が共同で作上げたこの車は、世界に誇れる名車と言っていいでしょう。発表の約2年半後から量産されるようになりましたが、私はそれ以前に『2000GT』を見たことがありました。1966年、19歳の時に東京にいた私に会いに来た祖母と共に泊まったホテルニューオータニの窓からホテルの庭を見ると、人が集まり、騒がしかったので見に行きました。庭を抜けるととても背の高い赤い顔の男性がいて、なんとショーン・コネリーでした。私が「オー、ミスターショーン・コネリー」と言うと、笑って、握手までしてくれました。彼はその時「007は二度死ぬ」の中で、丹波哲郎演じるタイガー田中との屋敷のシーンを撮影するためにいました。宮宗先生が錦のクラブ和合に行くと「007 ロシアより愛を込めて」のテーマソングがかかると仰っていましたが、それは1963年の作品です。周りを見回すと駐車場に入らないようにと書かれた紙が貼ってありましたが、警備員もいなかったため、中に入ってみるとオープンカーが置いてありました。それこそが映画内で若林映子とショーン・コネリーが一緒に乗っていた『2000GT』だったのです。その後、量産された時に私は父に買って欲しいと頼みましたが、その当方で240万円程もしたため、買って貰えませんでした。

本物は買えませんが、ディアゴスティーニという会社から『週間トヨタ2000GT』が発売されたので、すぐに買いました。会長職が終わったらゆっくりと組み立てようと、全て箱のまま積んであります。昨年12月27日創刊から毎週車のパーツが届き、昨日は40号が届きました。創刊号は790円でしたが、その後は毎号1,790円になりました。今までで要した金額を計算すると70,600円になっていました。残りが何号あるかわかりませんが、ここまで来てしまうと止めるに止められなくなってしまいました。その他にも色々な趣味に合わせ、船のシリーズなどが発売されているようですが、買い始める方は何号で終わるかをしっかり確かめてからご購入下さい。

出席報告

鶴田浩出席委員

会員65名 出席45名 (出席計算人数49名)

出席率 83.3% 9月13日は補填により 84.6%

ニコボックス

鶴田浩ニコボックス委員

- ・瑞穂警察署刑事課長様、刑事課暴力薬物係係長様には公務が多忙にも関わらず卓話をお願いしたところ、快くお引受けいただき有難うございました。 **鈴木 圓三さん**
- ・本日9月20日、私の65回目の誕生日です。なにかと節目の年となりました。 **近藤 雄亮さん**
- ・今月26日は私の誕生日です。53才になります。今月13日は息子の誕生日でした。2才になりました。 **大嶽 達郎さん**
- ・9月17日は、妻の誕生日でした。きれいな花ありがとうございました。 **長瀬憲八郎さん**
- ・心身の再調整、弥生に乾杯！ **江口 金満さん**
- ・敬老の日のお祝いありがとうございました。 **岩田 吉廣さん**
- ・昨日は本多さんにお世話になりました。ドームの結果は残念でした。 **松波 恒彦さん**
- ・少し涼しくなりました。お彼岸迄とはよく言ったものですね。 **岩本 成郎さん**
- ・昨日は子供と長島に行ってきました。疲れしました。 **鈴木 淑久さん**
- ・まだまだ暑い日が続いています。体調には気を付けましょう。 **松井文一郎さん**

委員会・同好会報告

高木勝クラブ奉仕委員長

10月11日(木)は2010-11年度国際ロータリー・研修リーダーの中村靖治さんが卓話にお見えになります。テーマは「善き仲間と共に」です。当日は10分間延長させていただきますので、あらかじめご了承の上ご出席下さい。例会終了後、会長・幹事・会長エレクト・副幹事・五大奉仕委員長とガバナー年度のスタッフ5名を交え、中村さんから御指導賜るため、会議を開きたいと思っております。

幹事報告

平野好道幹事

- ・9月20日(木)例会延長の為、13:50よりヒルトン名古屋9階「つるの間」にて第2回R情報・研修委員会を行います。
- ・9月27日(木)19:00よりヒルトン名古屋4階「桜の間」にて名古屋熱田RACとの合同例会を行います。
- ・名古屋瑞穂RCのHPで議事録等をご覧になるにはログインする必要があります。本日メールボックスにログインするためのID・パスワードをお配りしましたのでご確認ください。
- ・11月29日(木)は台北延平RCの方を迎え、夜間例会を開催します。
- ・市内24RC社会奉仕拠出金として63,000円(1,000円×63名)を納入しました。
- ・瑞穂区防犯協議会会費として30,000円を納入しました。
- ・豊橋ゴールデンRC訪問時、10,000円をニコボックスより拠出しました。
- ・10月11日(木)の理事会は11時開始に変更します。

近年の犯罪情勢及び暴力団情勢

瑞穂警察署の刑事課長でございます。どうかよろしくお願いたします。名古屋瑞穂RCの皆様には日頃から警察業務各般に渡り、多大なご尽力とご協力をいただき大変有難うございます。署長に成り代わり、まずはお礼を申し上げます。本日のテーマは、「近年の犯罪情勢と暴力団情勢」ですが、後ほどDVDを上映する時間の都合上、簡潔にお話しいたします。

平成19年にアメリカでサブプライムローン問題が発生しました。その翌日にはリーマンショックが起き、世界的な規模で金融不況に陥りました。この影響を受け、日本国内においても「円高」「株安」「デフレ」が進み、長期景気の低迷が続く中、近年は、オレオレ詐欺をはじめ、闇サイト殺人事件やストーカー殺人事件、更には、ドメスティックバイオレンス、児童虐待など社会情勢を反映した特異な事件が多発しており、体感治安は悪化傾向にあります。一方、刑法犯の認知件数の推移を見ると、平成15年をピークとし、その後は官民一体となった施策が功を奏し、年々減少しております。昨年は、ピーク時の概ね半数近くの認知件数となりました。本年も順調に減少しております。

続いて「暴力団情勢」について説明いたします。現在、日本国内には、約70,300人の暴力団員が把握されています。この内、山口組が約31,000人と全暴力団の半数を占め、山口組の勢力拡大と寡占化が一層進んでいる状況にあります。一方、この愛知県内の暴力団勢力については、同じく昨年末現在で、約140団体、約3,600人となっております。県内の山口組で最も大きい暴力団勢力は、弘道会です。本愛知県警察としましては、弘道会の壊滅を目指し、最高幹部を次々に逮捕するなど集中取締りを展開中です。

次に、瑞穂警察署管内の暴力団情勢について、お話しします。当署管内において、現在のところ、暴力団組事務所を確認していませんが、暴力団構成員並びに準構成員が居住している実態を把握しています。また、隣接の南区、熱田区、昭和区等に事務所を構える弘道会を始め、他組織の傘下組織構成員等が、管内の飲食店等に出入りし、遊興等している旨の情報も入手していることから、関係警察署、関係団体、地域住民との連携を強化し、これら暴力団等に係る不法事案等の摘発並びに暴排活動を展開しているところであります。

ここで、私どもが持参したDVDを上映いたします。このDVDは「断絶」というタイトルで、企業の取引から暴力団をはじめとする反社会的勢力を排除する内容となっております。それでは、ご覧下さい。

<DVD上映>

只今ご覧になったDVDの様に暴力団等は手口を巧妙化し、覚せい剤や賭博で得た資金を新興市場やベンチャー企業などに投資し、莫大な利益を上げ、資金源としております。皆様もこの様な状態に陥らないためにも、

暴力団追放三ない運動

「暴力団を恐れない」
「暴力団に金を出さない」
「暴力団を利用しない」

の実践を願います。

最後になりましたが、暴力団の資金源を断つためには、警察の強力な取締と併せ、皆様との情報交換等、緊密な連携が不可欠であります。今後とも、警察に対する理解、協力のほどお願いするとともに、我々警察組織が暴力団等反社会的勢力の壊滅に向け、戦っていくことをお誓いして挨拶とさせていただきます。



50周年を迎えた日本の青少年交換

今から50年前、1962年のオーストラリアではまさに時代が大きく変わろうとしていました。多くのオーストラリア人が第二次世界大戦の辛い思い出から精神的に立ち直ろうとしており、政府も反アジアの「白豪主義」を基にした移民政策を廃止しようとしていた時期でした。

日本から初のロータリー青少年交換学生としてオーストラリアのメルボルンに留学した関本洋子さんは、当時自分が参加した交換について周りの多くの大人たちが憂慮していたことを、まったく知らなかったと言います。50年経った今、関本さんは、当時自分を温かく迎え入れてくれたオーストラリアについて、「戦争から17年しか経っていなかったにも関わらず、誰もがまるで娘や妹のように私に接し、温かいもてなしの心を感じることができた」と振り返ります。

日本での青少年交換の始まりは、オーストラリア人のドン・ファークワーさんが1961年に東京で行われたロータリー国際大会で講演し、友情と文化理解の大切さを訴え、特に日本との交流が重要であるとし、青少年交換がその目的を果たす最適な方法であると述べたことに遡ります。

オーストラリアの青少年交換プログラム担当者であるスチュアート・マクドナルドさんは、ドンさんについて次のように話します。「1942年、ドンさんは第二次世界大戦における日本との戦いによって両目を失明しました。それでも彼は、平和と親善を推進するという熱意と使命を心に抱き続けた人なのです」

ファークワーさんが国際大会で講演した後、ある日本の地区ガバナーが、ぜひオーストラリアと日本の青少年交換を実施できないかと尋ねてきました。こうして、ローズバットRCと久留米RCが、関本さんのオーストラリアへの派遣を決定しました。関本さんがメルボルンに旅立った数週間後、ほかの日本人学生がシドニーに出発、次の年には日本がオーストラリアから学生を受け入れました。こうして、日本とオーストラリアとの交換プログラムが始まりました。

前述のマクドナルドさんいわく、青少年交換の始まりとしての関本さんのオーストラリア訪問は、歴史的に大変貴重な出来事として考えられ、当時の写真は現在オーストラリア国立アーカイブに収められています。

関本さんは当時の思い出について、「私が16歳の頃の日本は戦後の大変な次期でしたので、オーストラリアに来たとき、まるで天国にいるような気分になりました。日本とはまるで違う生活スタイルを経験し、あの交換は私の人生の大きな転機だったと思います」と話します。

オーストラリアでの経験で、世界を旅したいという強い思いを抱いた関本さんは、大学を卒業後、旅客機の客室乗務員として活躍し、結婚。その後、日本に帰国するまでエジプトで生活しました。

「関本さんのストーリーは青少年交換の素晴らしい一例です」とマクドナルドさん。「50年後の今、日本と世界各地の人々の間で、多くの友情が生まれています」

例会のご案内

■今週の行事 9月27日(木) ローターアクトとの合同例会

場 所: ヒルトン名古屋4階「桜の間」

時 間: 19:00~20:30

■次週の行事 10月2日(火) ガバナー訪問

場 所: 名古屋観光ホテル3階「那古の間」

時 間: 18:30~19:30

■10月4日(木) 振替により休会

■次々週卓話 10月11日(木)

卓 話 者: 2010-11年度 国際ロータリー・研修リーダー

中村靖治さん

テ ー マ: 善き仲間と共に